

第3回北陸地域未来戦略検討会においてご意見いただきたい点

令和8年5月22日

事務局

1. 本日（5月22日）第3回北陸地域未来戦略検討会（以下「検討会」）では、次の内容について話題提供を行い、ご議論いただく。

- ・ 地域未来戦略について（第3回関係副大臣等会議、北陸地域の戦略産業クラスターの素案、4月28日第2回検討会開催後の動き など）
- ・ 各県における地域成長産業プランの検討状況
- ・ 各省における地域未来戦略に関わる取組状況 など

2. 「地域未来戦略」における3つのクラスター計画の検討は、北陸地域においても着実に進められているところ、国・県等から、その検討状況をご説明。各省からも、地域未来戦略に加えて日本成長戦略に関連する取組状況等をご説明。メンバーからご意見いただきたい事項は、次のとおり。

- ・ 地域未来戦略における3つのクラスター計画の検討状況について、これまでの議論を踏まえ、北陸地域が有する強みの伸張、将来の産業競争力の強化につながるものとなっているか。
- ・ 北陸地域の戦略産業クラスター計画の素案として、①AI・半導体関連産業分野、②部素材・サーキュラーエコノミー産業分野の2分野を提示。今後のクラスター計画の具体化に向けて、2040年の地域のありたい姿を念頭に、①企業の大規模投資、②必要なインフラ整備や分野特有の拠点整備、③人材育成等を一体的に実施する。この実施にあたり、留意すべき点は何か。
- ・ 地域未来戦略における3つのクラスター計画のうち、とりわけ戦略産業クラスターと地域産業クラスターの推進にあたっては、国と県との連動が一層重要と思料。地域産業クラスターの推進にあたり、国は伴走支援をすることとなっている。「北陸は一つ」、地域の企業や経済団体及び業界団体等とも連携が不可欠と思うが、留意すべき点は何か。
- ・ 各省では、地域未来戦略ならびに日本成長戦略の策定を受けて、地域における波及、展開を視野に、今後施策を推進していく。各省の様々な計画や取組などとの連動性及び実効性を高めることが必要と思うが、留意すべき点は何か。

- ・第2回検討会において議論いただいた「地域の産業人材」について、地域における将来の産業人材の需給ギャップ、産業競争力強化に向けた教育機関の取組などの紹介を踏まえ、①職業観の醸成や現場人材の評価のあり方、②社会で活躍するための教育プログラムのあり方、③ものづくり技術・技能の伝承、④若い世代の挑戦を促す環境整備等、様々な示唆を得たところ。今後、地域としてどのような取組をすべきか。行政、産業界、教育界の更なる連携強化に向け、どのような取組を進めるべきか。また、各機関の役割をどのように考えるか。
- ・上記の点など、「強い北陸地域経済」の実現にあたり、関係機関の一層の連携と、各取組の連動が一層求められる。北陸地域未来戦略検討会においても、今後も継続した議論を実施してまいりたいと思うが、いかがか。

など